
盗難キャッシュカード について

2005年4月26日

みずほ銀行

盗難キャッシュカード被害の状況

(H16年1月～11月、警察庁資料による)

- キャッシュカード窃盗被害認知件数：14万件
- うち、払出被害が発生しているのは、3,114件、被害金額21億円

(払出被害認知件数は、窃盗被害認知総数14万件的2%、1件平均69万円。)

- ただし、認知されている被害は、実際の被害全体の一部であると推測される。

(補足：同期間の各種窃盗被害認知総数は183万件)

偽造カード被害と盗難カード被害の相違点

		偽造キャッシュカード	盗難キャッシュカード
被害の特徴	手口	<ul style="list-style-type: none"> ・スキミング など。 ・暗証番号はさまざまな方法で盗用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひったくり、すり、空き巣、車上盗難、置き引き、脅迫等さまざま。 ・暗証番号はさまざまな方法で盗用されている。
	被害の判明	<ul style="list-style-type: none"> ・預金者自ら、直ちに気付くきっかけが少ない。 ⇒気付くことが遅れることにより被害が拡大する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・預金者自ら、ただちに気付くケースが多い。 ⇒銀行に連絡することにより口座停止措置が可能。
帰責性	銀行	【カード管理】 <ul style="list-style-type: none"> ・スキミング可能なカードを提供している。 	【カード管理】 <ul style="list-style-type: none"> ・なし
		【暗証番号管理】 <ul style="list-style-type: none"> ・覗き見防止につき必要な対応がされていないATMにおいて、覗き見される場合等。 	
	預金者	【カード管理】 <ul style="list-style-type: none"> ・預金者に帰責性を求めるのは困難な場合が多い。 	【カード管理】 <ul style="list-style-type: none"> ・ひったくり、すり、空き巣、車上盗難、置き引き、脅迫等さまざまなケースがあるが、預金者に帰責性がある場合も多い。
		【暗証番号管理】 <ul style="list-style-type: none"> ・推測されやすい番号を使用。 ・暗証番号を第三者に知られやすい状況に管理(メモしたり、電話で開示したりする) 等。 	
規定について	<ul style="list-style-type: none"> ・偽造カード作出の容易化により、この限りにおいては、規定の有効性には疑義が生じたため規定の見直しを実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ・過去の判例等との平仄

盗難カード被害防止に向けて①

(金融機関による対策について)

1. 盗難カードの被害防止に向けて

- ・カード、暗証番号の管理について引き続き注意喚起を実施
(具体的な事例にもとづいた注意喚起)
- ・万一、盗難にあった場合の連絡先の周知
- ・ATM画面の覗き見防止措置
- ・暗証番号変更の利便性を確保
- ・生体認証の導入 等

2. 被害拡大防止に向けて

- ・引出限度額の一律の引き下げ
- ・引出限度額を任意に設定することの出来る仕組みの整備
- ・モニタリングによる異常な取引を早期に発見できる体制整備
- ・盗難カード被害保険の導入 等

盗難カード被害防止に向けて②

(預金者によるキャッシュカード及び暗証番号の管理)

1. カードの管理の厳格化

- ・他人に貸与しない
- ・長期間手元から離さない
- ・保管するときは、安全な場所に保管する 等

2. 暗証番号の漏洩防止

- ・類推されやすい暗証番号を使用しない
- ・電話等で第三者に話さない
- ・カードに記載したり、メモをつけたりしない
- ・ATM操作時等、覗き見防止に注意する
- ・貴重品ボックス等を使用する場合、キャッシュカードと同一の番号を使用しない
- ・暗証番号を定期的に変更する 等

盗難カード被害への対応について検討が必要な事項①

- 各種の窃盗犯罪被害の中で、キャッシュカード被害者だけを救済することの整理
- 被害の偽装(被害者への成りすまし)が極めて容易であることから、暴力団等の組織的犯罪の収益源とならない仕組みの構築
- 銀行・預金者の過失有無または度合いが偽造カードとは異なることの整理(民法との関係、他の金融カード取引、非金融カード取引への影響検討)

盗難カード被害への対応について検討が必要な事項②

- 銀行として盗難カード被害の真偽が判別できないことによる実務上の問題
- 預金者のカード、暗証番号の管理についてのモラル低下の防止対策
- 金融機関の財務負担増加に備えた対応を検討することも必要